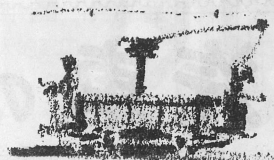


鉄道ピクトリアル

1955年3月号

Vol. 6 No. 3



表紙「往時の花形」……………黒岩 保美・写

EF51形 No. EF512〔八〕
1952年1月 西国立支区にて
ローライコード トリオター F3.5 絞 f16 1/25
ネオパン SS

グラフィック

豪雪を前に……………石川 尹己…23
早春(第2回写真コンクール佳作)…辰馬 健…24
煙突の長い汽車(同入選)……………小林 茂…24
春浅し常磐線……………伊藤 昭…25
西鉄車両集〔2〕……………宮松金次郎・谷口良忠…26
トロバスグラフィック……………吉川文夫・佐々木貞太郎…26
海外の新しい地下鉄と路面電車……………28
木製客車通観写真集〔2〕

……………瀬古竜雄・小林宇一郎…30
トピックフォト { 完成近いクヤ9020・宮原機
関区2万キロ無事故達成・マ
ニラ向け客車・都電2000形
江の電改造連接車・熊本市
電新車 } ……31

記事

上越線で電車の耐雪試験行わる……………3

汽車の切手物語……………荒井 誠一…4
蒸気機関車の弁装置……………寺山 巖…7
ヨーロッパ諸都市の電車……………星 晃…10
高松駅 あの駅この駅(4)……………山中 覚…13
日本のトロリーバス通観(上)……………吉川 文夫…16
軌間物語(3)……………川上 幸義…19
鉄道の話題……………22
電車区を語る……………塚越 義寿…32
西日本鉄道私鉄車両めぐり(24)
……………谷口良忠・奈良崎博保…35
木製客車通観(7)……………瀬古 竜雄…38
完成迫る手手・京浜線の分離……………40
質問に答える……………42
読者短信……………44
国鉄電車配置表(1)……………46
車両の動き……………47
新駅開業・後部車から……………48

付録 鉄道用語小辞典(6)

—カットは黒岩保美画く—

今月の話題

上越線で電車の耐雪試験行わる

電気機関車の多雪区間の運転は、昭和6年8月上越線電化開通以来すでに25年の長きにわたって行われ、故障も殆んど出つくした形で、したがっていまでは防雪対策は完成されているといってもよい。しかし、電車となると構造の特質からそうはいかない。一昨年からは始められた石打までのスカ線電車の乗入れも冬期は水上止りとなっているばかりでなく、今年秋には高崎線の一部電車化や、大垣以西の電車化を既定の事実として、電車の多雪区間への入線が間近かに迫ったので、電車は雪にどの程度耐えられるかという問題がクローズアップされるに至った。

そこで、国鉄関東総支配人室を中心に鉄研・大井工場および東京・高崎・新潟の3管理局が合同して、国鉄はじめての大掛りな「電車耐雪試験」が2月6日から10日までの5日間水上―石打間で行われた。

試験はクハ76023+モハ70031+モハ70032+クハ76024の4両編成で、主電動機は排気孔を塞ぎ、口出線をネオプレーン絶縁とし、端子をリノテープで巻き、主抵抗器は前後左右にオオイ板を取付け、床下機器類はフタの密閉やシャ断器の前フタを二重絶縁したり、笛にオオイをつけ、パンタの押上力を上げる(6キロ)など、現在判っている工事はひと通り行ったうえで、まず、6日定置試験として水上と石打で各機器の絶縁測定を2時間おきに

行い、つづいて毎日3往復の走行試験を行い、各機器の絶縁耐力の低下、空転・滑走の有無、起動・制動状態、主要機器の温度上昇などを測定した。

降雪は最初の6日に水上5(90)湯檜首110(185)土合30(240)土樽20(225)中里25(220)石打35(200)〔単位センチ、括弧内は積雪量〕降っただけで、爾後晴天つづきで期待した結果は出ないようであるが、いまのところレール面上30センチ程度の雪なら現状(改造)で耐えられるが、なお(1)スノーブローが必要である(構造上は取付困難であるが)(2)主抵抗器の絶縁には特殊の考慮がある(三重絶縁など)(3)床下取付の空気関係部品(圧力加減器・減圧弁など)は運転室へ移設する(4)主電動機内へ侵雪防止に特別の考慮がある(5)自動窓フキ器・車内の暖房器の特設などがあげられている。

(写真は石打における試験列車)

